

資料編

【資料編】

I 第2期振り返りにあたって

1 にこまちプラン区民アンケートより

第2期にこまちプラン計画期間中の区民意識の変化や取組状況などを把握し、第2期計画全体の評価と併せて第3期計画策定にあたっての参考とするため、平成26年9月に「にこまちプラン区民アンケート」（無作為抽出した18歳以上の西区民3,000人対象）を実施しました。

【第2期に設定した福祉保健推進の目標値達成状況】

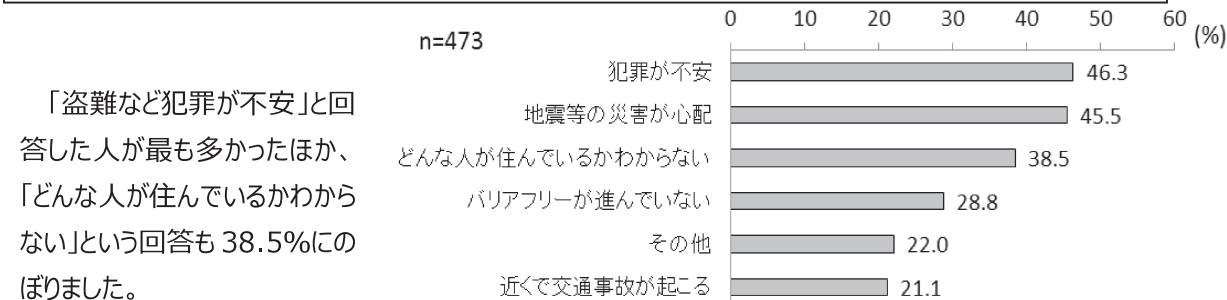
基本目標	項目	21年度	26年度	前回比較	目標値
1	西区は「安全なまち」だと思う	56.7%	64.1%	↗	60%
1	ごみ出しのルールを必ず守る	74.8%	87.1%	↗	100%
1	ポイ捨てをしないというルールを必ず守る	78.9%	90.0%	↗	100%
1	駐輪・駐車ルールを守る	72.2%	87.5%	↗	80%
2	自分が健康だと感じている	79.8%	77.5%	↘	80%
2	過去1年の間に健康診断を受けた	70.4%	73.6%	↗	80%
2	かかりつけの医師がいる	54.5%	57.3%	↗	90%
2	かかりつけの歯科医師がいる	53.0%	62.9%	↗	90%
2	かかりつけの薬剤師がいる	21.4%	27.6%	↗	30%
2	健康のために、意識して運動したり、身体を動かしたりしている（*）	34.4%	60.6%	↗	40%
2	健康のために、バランスの良い食事をとるなど、食生活に気をつけている（*）	51.4%	73.7%	↗	80%
3	障害のある方と接する機会があった	16.0%	20.9%	↗	30%
3	障害のある方と接する機会をもちたい（*）	22.9%	55.8%	↗	50%
3	ちょっと困ったことがあった時に助けてくれる近所の人や近くの友人がいる	49.3%	61.3%	↗	80%
4	家族以外で自分とは違う世代の人と交流する機会があった	40.1%	46.3%	↗	70%
4	自分とは違う世代の人と交流する機会があれば参加したい	36.9%	54.6%	↗	60%
5	近所の子どもにあいさつなど声をかけることがある	57.9%	56.7%	↘	90%
5	近所の子どもに注意することができる	56.4%	49.1%	↘	90%
6	地域や区役所からのお知らせや催し物の情報をホームページから得る	4.0%	10.1%	↗	10%
基本理念	今後も西区に住み続けたい	57.7%	86.8%	↗	90%

（*）は設問の文言を21年度調査時から若干変更しています。

※表中網掛けは目標値を達成した項目

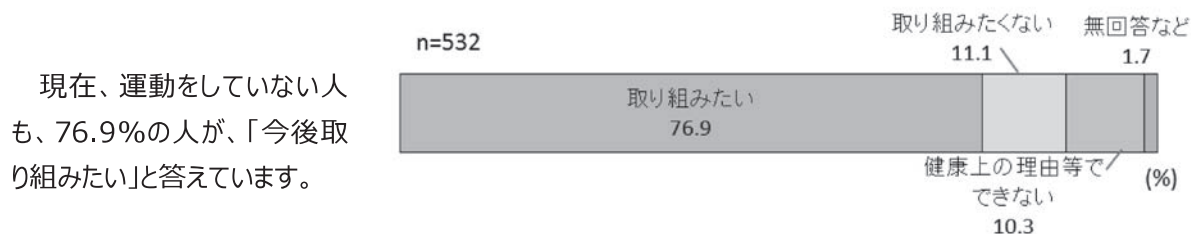
関連する目標 **基本目標 1 安全が確保され、安心なまち**

問:西区は「安全なまち」だと思いますか。(思わない方は)安全なまちだと思わない理由は何ですか(複数回答)



関連する目標 **基本目標 2 活気にあふれ健康なまち**

問:現在、ご自分の健康のために、意識して運動をしたり、からだを動かしたりしていますか。(していない方は)今後はどうしたいですか。



関連する目標 **基本目標 3 一人ひとりの個性を認めあい、みんなが共存するまち**

問:この1年間で、障害のある方に接する機会(日頃のあいさつやイベントと一緒に参加するなど)があったと思いますか。



問:今後、障害のある方に接する機会があったら、どうしたいと思いますか。



この1年間で「障害のある方に接する機会があった」と答えた人の割合は、「少しあった」も含めて20.9%でした。一方、55.8%の人が、今後、「積極的に接する機会をもちたい」、「接する機会をもちたい」と回答しています。

関連する目標 **基本目標4 地域全体がつながりを持つまち**

問:地域のボランティア活動に参加したことがありますか。



問:(参加したことがない方は)今後、機会があれば参加したいと思いますか。



地域のボランティア活動に参加したことのある人は15.1%ですが、参加したことがないと回答した人に、今後の参加意向を質問したところ、41.1%の人が、今後、「積極的に参加したい」、「参加したい」と答えています。

関連する目標 **基本目標5 子どもが健やかに成長できるまち**

問:子育てをする際、地域とのつながりを意識して、子ども会行事への協力や地域活動への参加を行っていますか(※中学生以下の子どもを持つ方のみ)

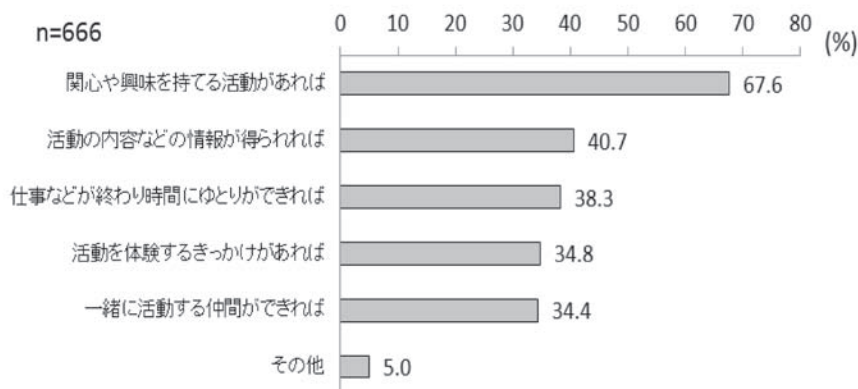
中学生以下の子どもを持つ5割弱の人が地域とのつながりを意識して、地域活動等に参加しています。



関連する目標 **基本目標6 必要な情報が正確に伝わるまち**

問:(これまで地域の行事・ボランティア活動などに参加したことがない方で)今後機会があれば「参加したい」という方は、どのような条件が整えば参加できると思いますか(複数回答)

「活動内容などの情報が得られれば」地域の行事やボランティア活動に参加できるという回答が、「関心や興味を持てる活動があれば」という回答に次いで多く、4割を越えています。



2 第2期重点推進目標の振り返り

<基本目標1> 安全が確保され、安心なまち

【重点推進目標】 ・地域で助けあう関係を築く

取組内容	目標達成状況			新規取組	評価
	第2期策定時	平成26年現在	目標値		
高齢者や子どもの見守り活動団体数を増やす	127団体	147団体	135団体	<ul style="list-style-type: none"> ・あんしんカードをきっかけとした地域での顔の見える関係づくりの推進 ・防災に関する研修などの開催 ・津波避難マップ、火災避難マップ作成支援 ・地域安全西区民のつどいの開催 ・地域防災拠点での障害者の避難所体験の開催 	<p>災害時に支援を必要とする人が、地域で顔の見える関係をつくるきっかけとして、「あんしんカード」の取組を進め、障害者の避難所体験を開催しました。</p> <p>日ごろから地域で助けあう関係づくりが広がっていますが、今後も引き続き取り組んでいく必要があります。</p> <p><活動団体への振り返りアンケートより> 災害時要援護者の支援について話しあいの上、当事者へ訓練参加を働きかけたり、地域と福祉施設・団体がお互いに意識を持って訓練に参加するなど、より実効性の高い内容となるよう工夫を重ねています。</p>
地域の防災訓練への参加者数を増やす	3800人	2830人	4500人		
災害ボランティアネットワークへの参加団体・参加者を増やす	4団体 31人	4団体 37人	6団体 46人		
防犯に関する講座、イベントの実施回数を増やす		8回	6回		

<基本目標2> 活気にあふれ、健康なまち

【重点推進目標】 ・自分が健康であるために、健康の意識を高める

取組内容	目標達成状況			新規取組	評価
	第2期策定時	平成26年現在	目標値		
がん検診・健康診断の受診者数を増やす	5900人	9595人	8000人	<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康づくりのための支援者育成と講座の開催 ・介護予防のための元気づくりステーション事業の開始 	<p>健康づくりへの住民の関心や意識の向上が見られ、健診受診や介護予防の取組が広がっています。</p> <p>健康情報に興味を持ちにくい、働き・子育て世代への働きかけの工夫が必要です。</p> <p><活動団体への振り返りアンケートより> 目的の異なるウォーキング（仲間づくりウォーキング、スポーツウォーキング）や体操教室が定着しています。</p>
ウォーキングへの取組を増やす	12回	27回	30回		
食習慣の改善に取り組む人を増やす * 区民アンケート	51.4%	73.7%	80%		
介護予防講座への参加者数を増やす	1900人	8113人	2400人		

<基本目標3> 一人ひとりの個性を認めあい、みんなが共存するまち

- 【重点推進目標】
- ・サポートを必要とする人が自分の気持ちや活動を発信し、一人ひとりが地域や社会にかかわりを持つ
 - ・サポートを必要とする人がその人らしい暮らしができる支えあいを心がける

取組内容	目標達成状況			新規取組	評価
	第2期策定時	平成26年現在	目標値		
作業所や自主活動グループ、団体などの活動を広く紹介する	60団体	72団体	70団体	<ul style="list-style-type: none"> ・にこまちフォーラムでの普及啓発 ・防災訓練とタイアップした障害理解のための啓発 	<p>地域の拠点を中心に、当事者、団体と地域とのつながりができつつあります。今後さらに、それを全体の取組とし、理解を広げていくことや支えあいの仕組みづくりが必要です。</p> <p><活動団体への振り返りアンケートより> 障害児・者関連の団体が積極的に地域の行事に参加したり、地域と福祉施設が一緒におまつりを企画・開催したり、各地区民生委員児童委員協議会が障害への理解を深めるための研修に取り組むなど、互いに知り合い、共に活動する機会づくりを進めてきました。</p>
サポートを必要とする人についての啓発講座への参加者や共に活動出来る場を増やす	・講座等参加者数				
	950人	4931人	1100人		
	・行事参加団体数				
	40団体	70団体	60団体		

<基本目標4> 地域全体がつながりを持つまち

- 【重点推進目標】
- ・関係する団体どうしの連携を図る
 - ・どの世代も活躍できる場面を持つ

取組内容	目標達成状況			新規取組	評価
	第2期策定時	平成26年現在	目標値		
連絡会や講座、行事などに新たな団体と共に取り組む	/	39団体	1団体 1回	<ul style="list-style-type: none"> ・にこまちフォーラムの開催 ・地域子育てサロン交流会、研修会の開催 ・西区地域づくり大学校の実施 ・高齢者を対象としたボランティア講座の開催 	<p>関係する団体どうしの連携を図る機会が増え、つながりづくりが進んでいますが、担い手の偏りについては引き続き課題となっています。</p> <p>団塊の世代を対象とした講座の開催など工夫を行っていますが、講座参加者等が継続して幅広く活躍できる仕組みづくりが必要です。</p> <p><活動団体への振り返りアンケートより> 地域の行事に中学生がボランティアで参加できるような場面を作ったり、各世代が楽しめるプログラムを設けたりして、活動への関心喚起や世代間交流ができるよう工夫しています。また、団体間で活動情報が共有できるよう、情報カレンダーを作成したり、活動報告の場を設けるなどの取組を行っています。</p>
学生、子育て世代、団塊の世代、高齢者など対象者にあわせて、活動に関心を持ってもらう講座や行事を増やす					
ボランティア・市民活動を行う団体への助成に取り組む	41団体	53団体	61団体		

<基本目標5> 子どもが健やかに成長できるまち

【重点推進目標】 ・子どもは自分やみんなの子どもとして、みんなで育てる

取組内容	目標達成状況			新規取組	評価
	第2期 策定時	平成26年 現在	目標値		
地域と子どもが交流する機会を増やす	・親子が顔見知りになる場への参加者数			・西区地域子育て支援拠点の開設	西区地域子育て支援拠点が地域に定着し、子育てニーズに即した事業の展開など、子育て支援に関する取組が広がっています。 また、親子ふれあい会や子育てサロンなど、地域での子育て資源が充実したことから、今後は子育てを地域全体で支えるため、地域の関係者や団体間での縦、横の連携や効果的な情報の発信が必要です。
	5200人	41301人	7600人		
福祉教育や体験学習に参加する人数を増やす	・身近な地域の中で子育て相談をする機会			・地域子育てサロンの開設支援事業	
	4340人	7214人	4340人		
地域と学校、幼稚園、保育園の交流や育児支援の機会を広げる	・交流回数			・保育園、地域ケアプラザ、地域子育て支援拠点の共催による子育て支援事業の開催	<活動団体への振り返りアンケートより> 地域子育て支援拠点を中心に、地域子育てサロンの担い手の交流会など、子育て支援団体のネットワークづくりが進んでいます。
	260回	454回	320回		
	・育児支援件数				
	920件	2753件	1100件		

<基本目標6> 必要な情報が正確に伝わるまち

【重点推進目標】 ・自分自身に必要な情報を選択する

取組内容	目標達成状況			新規取組	評価
	第2期 策定時	平成26年 現在	目標値		
地区別、対象者別、年代別に情報をわかりやすく提供する	・発信の工夫に取り組む			・eネットにし探検隊の活動	インターネットを利用した情報発信手段を持っている団体が増え、それらの情報を収集・整理し、区民に提供していく必要があります。 インターネット利用が困難な人に対しては、広報紙や掲示板の活用、出前講座など情報の発信方法の工夫が引き続き必要です。 <活動団体への振り返りアンケートより> 多くの団体で、高齢者向けのチラシは活字を少なく、イラスト等を工夫して読みやすくしているほか、ホームページ、ブログの活用、充実などに取り組んでいます。
	・情報を伝える場への参加者数				
	1900人	3287人	2300人		
インターネットに情報を掲載する団体数を増やす	54団体	121団体	64団体	・にしく市民活動支援センターのホームページや情報紙の刷新	
身近に情報を入手できる施設や拠点があることを伝える (情報がどこにあるか知っている人を増やす)	90.3% *区民アンケート結果				

Ⅱ 第3期計画策定過程

地域で活動する団体や区内福祉保健関係団体等の代表者で構成される西区地域福祉保健計画推進・評価委員会や作業部会として策定検討会を開催し、第2期計画の振り返り、区民アンケートや活動団体からのアンケート、ヒアリング、また、テーマ別検討（10ページ参照）の結果等を踏まえ、第3期計画をまとめました。

また、地区別計画については平成26年度から各地区において、地区懇談会や地区社会福祉協議会の場等で、第2期計画の振り返りや第3期計画の策定に向けた話しあいを行ってきました。（12ページ参照）

主な策定過程

年 月	地区での話しあいや推進・評価委員会等
平成26年 4月	活動団体アンケート（65団体回答）
6月	第13回 西区地域福祉保健計画推進・評価委員会 ・第3期計画策定スケジュール等の確認
7月	テーマ別検討会開始（～27年3月） [障害、高齢、子ども、ボランティアの4テーマで検討(各7回程度開催)]
9月	にこまちプラン 区民アンケート [西区在住の18歳以上の男女3,000人を対象(回答率48%)] 地区別計画策定のための話し合い(各地区で開催)（～27年12月）
11月	活動団体ヒアリング（9団体実施）
12月	第14回 西区地域福祉保健計画推進・評価委員会 ・第2期計画の振り返りについて 等
平成27年 3月	第1回 第3期西区地域福祉保健計画策定検討会 ・第3期計画策定にあたっての考え方と全体構成について 等
7月	第2回 第3期西区地域福祉保健計画策定検討会 ・第3期にこまちプラン区全体計画の内容等の検討 等
8月	第3回 第3期西区地域福祉保健計画策定検討会 ・第3期にこまちプラン素案（案）について
9月	第15回 西区地域福祉保健計画推進・評価委員会 ・第3期にこまちプラン素案（案）について
10～11月	第3期にこまちプラン素案 区民意見募集
12月	第4回 第3期西区地域福祉保健計画策定検討会 ・第3期にこまちプラン（案）について
平成28年 1月	第16回 西区地域福祉保健計画推進・評価委員会 ・第3期にこまちプラン（案）について

西区地域福祉保健計画推進・評価委員会名簿

分類	団体の役職名（又は略称）	氏名（敬称略）	
		26年度	27年度
地域	西区連合町内会・自治会連絡協議会会長	岩崎 忠雄	金子 勝雄
	西区商店街組合連合会会長	吉田 博茂	
	西区スポーツ推進委員連絡協議会会長	酒井 俊夫	小松 雅一
	西区青少年指導員協議会会長	菜花 好和	
	西区シニアクラブ連合会会長	梅山 胖	
福祉	西区社会福祉協議会会長	金子 勝雄	天笠 米蔵
	西区民生委員児童委員協議会会長	武田 容子	
	西区主任児童委員代表	西田 千寿子	
	西保護司会会長	河東田 吏司	
	西区更生保護女性会会長	武田 容子	
	西区社会福祉協議会 障がい福祉関係分科会会長	深野 博子	
	西区社会福祉協議会 ボランティア・市民活動分科会会長	皆川 深雪	
	西区地域ケア施設代表	熊捕 真穂	
	西区地域自立支援協議会代表	渡辺 幹夫	
	西区地域子育て支援拠点 スマイル・ポート施設長	山田 美智子	
	保健	西区医師会会長	進藤 邦彦
西区歯科医師会会長		杉浦 洋二	
西区薬剤師会会長		鈴木 康久	
西区獣医師会会長		塩瀬 将之	
西区保健活動推進員会会長		池田 ミネ子	
西区食生活等改善推進員会会長		徳岡 史	栗元 逸子
西区食品衛生協会会長		長谷川 正	
西区生活衛生協議会会長		鈴木 邦彦	
子ども	横浜市幼稚園協会西区支部長	佐野 治	
	西区小学校長会会長	小林 淳一	小堀 敏明
	西区中学校長会理事	谷 博章	
	西区PTA連絡協議会会長	小澤 幸	木下 あけ美
	西区子ども会育成連絡協議会会長	福永 浩世	
行政	戸部警察署長	小田 重人	大塚 和久
	西消防署長	岡田 康裕	中嶋 俊明

第3期西区地域福祉保健計画策定検討会名簿

団体の役職名（又は略称）	氏名（敬称略）	
	26年度	27年度
西区スポーツ推進委員連絡協議会 会長	酒井 俊夫	小松 雅一
西区シニアクラブ連合会 会長	梅山 胖	
西区社会福祉協議会 会長	金子 勝雄	天笠 米蔵
西区民生委員児童委員連絡協議会 会長	武田 容子	
西区主任児童委員 代表	西田 千寿子	
西区社会福祉協議会障がい分科会 会長	深野 博子	
西区地域子育て支援拠点 スマイル・ポート 施設長	山田 美智子	
西区薬剤師会 会長	鈴木 康久	
西区保健活動推進員会 会長	池田 ミネ子	
西区食生活等改善推進員会 会長	徳岡 史	栗元 逸子
西区PTA連絡協議会 会長	小澤 幸	木下 あけ美

（西区地域福祉保健計画推進・評価委員会名簿掲載順）

にこまちプラン素案意見募集で寄せられた意見とその対応について

1 意見募集の概要

- (1) 期 間 平成 27 年 10 月 21 日 (水) ～11 月 20 日 (金)
 (2) 対象者 西区在住、在勤、在学の方
 (3) 方 法 説明会を 2 回(10 月 24 日 (土)、10 月 28 日 (水))開催し、意見等をお聞きしたほか、区内の公共施設で配布し、意見募集箱、郵送、FAX、e-mail 等により意見を募集しました。

2 いただいたご意見・ご提案の内容と、その対応

	ご意見・ご提案	対応
目標 1	障害者の意思を読み取れる事を学ぶ何か(研修等)がないと、災害時に理解、検討出来ない。(意思が伝わらない)	ご意見を踏まえ、目標 1 の中の災害時要援護者支援、目標 3 の障害理解の取組を推進してまいります。
目標 2	シニア層はこれまでの人生で培ってきた経験や技能を持っているので、その人の個性や特技を生かすようなシニアライフ応援講座などを開催してはどうか。 子どもと高齢者のコミュニケーションを取り入れた行動計画を策定すべき。高齢者と子どものコミュニケーションを実現できればいい。その中でも学校教育は大事。	いただいたご意見を参考に、目標 2 のシニア世代の社会参加のきっかけ、場づくりの取組を進めてまいります。
目標 3	障害のある方との意思疎通は経験しないとわからない。そうした研修が必要。学校の授業の中でも取り入れられないか。 独り暮らしの認知症の人の生活を支える仕組みは十分に整備されておらず、利用できるサービスや介護者の会などに関する情報が得られる態勢を整える必要がある。	ご意見の趣旨は、目標 3 の障害理解、情報提供などの取組に含まれており、ご意見を踏まえ検討してまいります。 いただいたご意見を参考に、目標 3 の認知症理解の取組や、目標 6 の情報発信の取組を進める中で検討してまいります。
目標 4	担い手の確保が一番難しい。漠然と「担い手」と言われても難しく、年齢層によりその内容が違ってくる。具体的にどういう部分にどういう人材が必要かということを情報として整理すればよい。 ボランティアで取り組んでいることをまとめて、情報として出すことが必要。 「ボランティア」の表記について(市民活動との差異などを踏まえた表記にして欲しい。)	ご意見の趣旨は、目標 4 のボランティア活動に参加しやすい環境づくりや、担い手の育成の取組、目標 6 の伝わりやすい情報発信の取組に含まれており、ご意見を踏まえ、計画を推進してまいります。 ボランティア、市民活動等について、目標 4 の文言を修正します。
目標 5	塾やスポーツチームに行けないような子どもの居場所を考えたい。	ご意見の趣旨は、目標 5 の子どもたちが地域と関わる居場所づくりの取組に含まれており、ご意見を踏まえ、計画を推進してまいります。
目標 6	(※他目標との関連で整理)	—
推進体制	6 つの基本目標に向けて、どういう道筋で実現するのが問題。	いただいたご意見を参考に、目標実現に向けた取組について、毎年、推進・振り返りを行い、進捗等を確認しながら進めてまいります。
その他	公共の建物の中に高齢者と幼稚園と病院が、趣味を楽しみながら一緒に住める場所が西区に数カ所出来るとよい。	いただいたご意見は今後の参考にさせていただきます。

※その他、要望などもあり。(美化推進、自治会町内会のあり方、町のイメージに関する事など)

振り返り・策定協力団体一覧

下記の団体に加え、各地区民生委員・児童委員協議会と各地区社会福祉協議会のご協力をいただきました。

アンケート・ヒアリング等協力団体（五十音順）

eネットにし探検隊	NPO法人 障がい者自立支援グループ四季の会	(福)ハマノ愛生会 養護老人ホーム ハマノ愛生園
赤い靴	西・ともしび	(福)横浜共生会 地域活動ホーム ガッツ・びーと西
(一財) 横浜市西区聴覚障害者協会	西区生活支援ネットワーク	老人福祉センター横浜野毛山荘
(株)サクセスアカデミー にじいろ保育園みなとみらい	西ドッグ & ボランティア ワンタッチクラブ	西区在宅介護者のつどい あけぼの会
サポート西	はーとメンバーズ自治会	NPO法人 レスパイト・ケアサービス萌
自主活動グループ	ほっと幸せ会	NPO法人 「CLIP・あこーん」電話相談室
(福)木花咲耶会 浅間幼稚園	むつみ愛児園	NPO法人 西区はーとの会
(宗)利正寺保育園	ゆめづくり三番館	西区地域子育て支援拠点 スマイル・ポート
手話交流会 ほたる	横浜市南浅間保育園	NPO法人 ムーミンの会 あそびの杜保育園
手話サークル「西」	(福)横浜市西区視覚障害者福祉協会	NPO法人 ムーミンの会 ムーミン保育園
サービスあしなみ	(福)ハマノ愛生会 特別養護老人ホーム 戸部ハマノ愛生園	

テーマ別検討会参加団体（五十音順）

<高齢>

赤い靴	(公財)横浜市老人クラブ連合会 西区シニアクラブ連合会	西・ともしび
(医)仁徳会 グループホームフィニックス	サポート西	西区在宅介護者のつどい あけぼの会

<障害>

(福)横浜市西区視覚障害者福祉協会	NPO法人 無限夢工房	西区生活支援ネットワーク
(福)県央福祉会 横浜中部就労支援センター	NPO法人 西区はーとの会 生活支援センター西	西区地域精神保健家族会 「もみじ会」

<児童>

NPO法人 シャーロックホームズ	地域子育てサロン らっここ	横浜市南浅間保育園
親子ふれあい会 ママのほっとステーション	西区地域子育て支援拠点 スマイル・ポート	横浜西区子育てサポートシステム
地域子育てサロン 子育てサロン カム・カム		

<ボランティア・市民活動>

西・ともしび	手話サークル「西」	NPO法人 「CLIP・あこーん」電話相談室
Friends にし	高島中央公園愛護会	にしく市民活動支援センター にしとも広場
Yom yom ! (ヨムヨム)		

Ⅲ 用語解説

※本文中の用語を説明しています(50音順)

用語	説明
あんしんカード	災害時や緊急時、駆けつけた人に必要なことがわかるように、緊急連絡先などを記載し、マグネットで冷蔵庫等に貼っておくカードです。 http://www.city.yokohama.lg.jp/nishi/kuyakusho/kankei/
SNS（エスエヌエス：ソーシャルネットワーキングサービス）	人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型の Web サイト。 広義には、社会的ネットワークの構築できるサービスや Web サイトであり、狭義では、友人、知人間など人と人とのコミュニケーションを円滑にする手段や場の提供や、趣味や居住地域、出身校といったつながりを通じて新たな人間関係の場を提供する、コミュニティ型の会員制のサービスを指します。
親子ふれあい会	「地域親子ふれあい会」 地区単位で社会福祉協議会、更生保護女性会、民生委員児童委員協議会などが中心になって、子育て中の親子が交流できる場を開催しています。季節の行事や遊びの会など、各地域で工夫しています。
親と子のつどいの広場事業	子育て支援団体が運営している未就学児を対象とした「親子の居場所」です。 子育てに関する相談、地域の子育て関連情報の収集・提供、子育て及び子育て支援に関する講習の実施、親子の交流ができる場です。
げんき活動応援団	区役所での研修を受け、地域で介護予防活動を支援する人たちです。
元気づくりステーション	高齢者が地域の中で人とつながりながら、健康で生きがいのある活動的な生活を送ることができるように、歩いて行ける身近な場所で健康づくり・介護予防に取り組むことができるグループ活動です。
健康づくりポータルサイト	西区役所のwebページの中で、健康で毎日を過ごすためのポイントや健康づくりをサポートするイベント情報等をまとめてポータルサイトとして掲載しています。 http://www.city.yokohama.lg.jp/nishi/life/health/kenkou-portal.html
子育てサロン	「地域子育てサロン」 地域の方がボランティアで開催しています。身近な場所で親子が気軽に集まり、仲間づくりができる「親子の居場所」です。予約不要で、開催時間中は出入り自由です。（未就学児対象）
コミュニケーションボード	言葉だけでは理解することが難しい人と周囲の人が絵を使ってやり取りをするための道具です。お店用、災害用など用途によつての使い分けやカード式のものなどがあります。
ころばんよ体操	平成15年に作成された西区のご当地体操です。健やかに生活している方々はもちろんのこと、体力低下やもの忘れのために活動の制限のある方にもお勧めしたい体操です。立って行う体操と座位で行う体操の2パターンあります。 http://www.city.yokohama.lg.jp/nishi/korobannyo/
在宅医療相談室	住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、在宅医療と介護の橋渡しをします。
社会福祉協議会（地区、区、市）	社会福祉法第109条に基づき、社会福祉の増進を図ることを目的に全国・都道府県・市区町村のそれぞれに組織されています。民間としての「自主性」と広く住民や社会福祉関係者に支えられる「公共性」という二つの側面を併せ持った組織であり、横浜市においては、市社会福祉協議会及び18の区社会福祉協議会、おおむね地区連合町内会エリアで活動する地区社会福祉協議会があります。
食生活等改善推進員（愛称：ヘルスメイト）	各区で実施している食生活改善セミナーを受講した方が食生活改善を目的に活動しています。
シルバー体操指導員	高齢者に適した体操やレクリエーションの地域指導者として、横浜市の指導者養成事業を修了した方が、地域の体操教室などで活動しています。

用語	説明
地域ケア会議	地域包括ケアシステムの実現に向けた手法として、高齢者個人に対する支援の充実（在宅生活の限界点の引き上げ）とそれを支える社会基盤の整備（地域づくり）を同時に図っていくことを目的に、地域包括支援センターが行う個別ケース地域ケア会議を始点として、包括レベル、区レベル、市レベルの地域ケア会議を実施します。
地域ケアプラザ	地域における福祉・保健の拠点として、地域包括支援センター（介護保険制度の中に位置づけられた機関で、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくための身近な総合相談窓口として横浜市が設置。総合相談、権利擁護、介護予防マネジメントなどを総合的に行う。）及び地域活動交流等の機能を担う横浜市独自の施設です。
地域子育て支援拠点	主に未就学児とその保護者が遊び、交流するスペースの提供、子育て相談、子育て情報の提供などを行う、各区に1か所ある地域の子育て支援の核となる施設。地域で子育て支援に関わる方のための研修会やネットワークづくりも行っています。
地域づくり大学校	自治会町内会の活動者や民生委員・児童委員等の各種委嘱委員、ボランティア活動者などの区民と、地域づくりに携わる区職員が参加し、協働による地域づくりを一緒に学ぶ場として開催されています。
地区連合町内会	おおむね中学校通学区程度を単位として、地区内の自治会町内会により構成される団体を言います。
にしとも広場 (にしく市民活動 支援センター)	生涯学習や地域活動そして市民活動を応援するつながりづくりの拠点です。 また、地域ポータルサイトを立ち上げ、地域で活動する際に必要な情報を、利用者が従来よりも手に取りやすくなるよう、情報発信を強化して事業を進めています。 http://www.nishitomo.city.yokohama.lg.jp/
認知症キャラバン・メイト	「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」に向けて、自治体事務局等と協働して、各種関係機関、組織、団体等に働きかけ、協力・連携体制づくり、ネットワーク化を推進し、地域のリーダー役を担う方です。
認知症サポーター	「認知症サポーター養成講座」を受け、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者です。
認知症初期集中 支援チーム	認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、医療や介護などのサービス利用につなげる等初期の支援を包括的、集中的に行う、医療や介護の専門職からなるチームのこと。西区では平成27年から設置されています。
ふれあい会	ひとり暮らし等高齢者への見守りや訪問活動などのふれあい福祉活動を行う西区独自の地域組織で、自治会町内会区域で結成されています。
保健活動推進員	地域の健康づくりの推進役、行政の健康づくり施策のパートナー役として、地域において活動しています。自治会町内会から選出され、市長が委嘱しています。
ボランティアセンター	ボランティアを必要としている人やボランティア活動をしたい人をつなげたり、ボランティア登録をしている人への情報提供等を行っています。西区では、西区社協に設置されています。
民生委員・児童委員	民生委員法により、住民の立場に立って生活上の相談に応じ、必要な援助を行う支援者として市町村に配置され、都道府県知事（政令指定都市の場合は市長）の推薦に基づき、厚生労働大臣が委嘱する任期3年の職。児童福祉法の児童委員を兼ねており、地域住民の福祉の増進を図る重要な担い手のひとりです。 また、平成6年1月から児童福祉に関する事項を専門的に担当する主任児童委員が設置されました。
横浜市民の読書活動の 推進に関する条例	横浜市は、「市民一人一人が、豊かな文字・活字文化の恵沢を享受することができる環境を整備するよう、全力を挙げて市民の読書活動を推進」することを基本理念とした「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」を制定し、平成26年4月1日に施行しました。